

2024年4月1日

青山商事、全国 75 拠点で CO2 排出量を実質ゼロへ 実質再生可能エネルギー由来のグリーン電力導入 ～持続可能な社会の実現に向け、導入規模拡大～

青山商事株式会社（本社：広島県福山市／代表取締役社長：青山^{おさむ}理）は、これまで CO2 排出量の削減に向けた活動の一環として、2023 年 4 月より全国 5 拠点にて使用電力の 100%を実質的に再生可能エネルギー由来であるグリーン電力※1 に切り替える取り組みを行ってまいりました。昨今の気候変動対応の重要性を考慮し、このたび 2024 年 4 月 1 日から新たに 70 拠点での導入を決定し拡大、合計 75 拠点となることをお知らせします。



（写真：青山商事本社）

当社は 2021 年に発表した中期経営計画「Aoyama Reborn 2023」において、2023 年度 CO2 排出量目標を 2013 年度比 30%削減から期中に 43%削減に上方修正し取り組みを進めてきました。また、2024 年度から 3 か年の新中期経営計画でも気候変動対応をより推進していくことを踏まえ、東京電力エナジーパートナー株式会社および沖縄電力株式会社が提供するグリーン電力を活用し、2024 年度は CDP における導入基準の一つとされている約 10% (6, 136t-CO2) の実質再生可能エネルギーの導入を実施します。

当社グループでは、今後も環境課題の認識と解決のために SDGs を重要視し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

※1 水力・風力・太陽光その他の再生可能エネルギー由来の非化石証書の使用により、実質的に CO2 排出量がゼロとみなせる電力

【導入拠点】合計 75 拠点

2023 年 4 月 合計 5 拠点

福山本社・東京オフィス・千葉商品センター・神辺商品センター・井原商品センター

2024 年 4 月 合計 70 拠点

洋服の青山 64 店舗（東京都全店 32 店舗、広島県全店 15 店舗、高知県全店 5 店舗、沖縄県全店 6 店舗、他 6 店舗）・TSC 業態全店 2 店舗・本部および商品センター（王子ビル、倉敷商品センター、田川商品センター、卸町商品センター）

※当社受電直契約店舗のみ（テナントビルイン除く）



《本件に関するお問い合わせ先》

青山商事株式会社 東京オフィス 広報部 宮本、長谷部
〒110-0005 東京都台東区上野 4-5-10 青山上野ビル 7F
TEL: 03 (5846) 5656 MAIL: pr@aoyama-syouji.co.jp

日本における温室効果ガス（CO2 等）排出量は、2030 年度に 2013 年度比で 46%削減という目標が掲げられています。当社は 47 都道府県全てに出店している全国展開企業として、地球温暖化対策に向けた電気使用量の削減を全国的に取り組むべき課題と捉え、設備の変更や改修などの省エネ活動を推進しています。

〈CO2 排出量の過去 5 年間の推移（Scope1・2）〉

CO2 排出量 (t-CO2)

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
Scope1	927	647	676	796	1,094
Scope2	74,260	64,518	61,696	52,784	49,461
Scope1+2	75,187	65,165	62,372	53,580	50,555

■省エネの主な取り組み



〈LED の導入〉

2013 年度より、店内照明を蛍光灯から LED に変更しはじめ、2015 年には既存店舗全店の変更を完了しています。そして 2016 年以降の新店舗には全て LED 照明を導入すると共に、2017 年度からはピロティ店舗の駐車場部分についても、蛍光灯から LED への変更を 63 店舗完了しています。

〈空調設備の改修〉

2011 年度から 2013 年度までの 3 年間で、15 年以上経過した空調を、省エネタイプの最新機種へ 302 店舗、1,689 台を改修実施しました。2014 年度以降も老朽化した空調設備を省エネタイプの最新機種へ随時変更し、2022 年度までで合計 2,057 台の改修をおこなっています。また、2019 年度より空調管理システムを導入することで適正室温での運用による省エネにも取り組んでいます。



〈塔屋看板の点灯時刻管理の徹底〉

「洋服の青山」の営業店舗の塔屋看板を照らす照明について、自社営業店マニュアルに記載されている“都道府県別の日没時刻一覧”を基に点灯時刻を日没時刻の 15 分前に設定し、点灯と消灯のタイマー設定を毎月変更することで省エネに取り組んでいます。